

# ～ How to study Communication III ～

休校中、しっかり自分で英語の学習を進めることが出来ているでしょうか。今回郵送された授業ハンドアウト、また Hyper Listening の解答を使って、以下の手順で勉強してみましょう。

## 授業ハンドアウトを使って学習する場合

### ① 【 Step1 Before reading 】 の質問に答える

「本文を読む前に、本文の内容に関して考えてもらうこと」が狙いです。

### ② 「Words」の空欄を埋めて、単語を覚える。

辞書を使うなどして、空欄を埋めます。そこから、英語⇒日本語の変換ができるまで、自分で練習してから、次は、日本語⇒英語の練習を繰り返す。

### ③ ハンドアウトではなく、教科書の本文を、時間を決めて読む。

ハンドアウトは、行間が空けてあったり、数字がふってあったりして、実際に英文を読む感じとは違います。なるべく、入試を意識した読み練習をしましょう。時間のめやすは wpm=100words。もし、このスピードでいくと、だいたい1レッスン、4分くらいです。

### ④ 【 Step2 Rapid Reading 】の空欄に適語を入れていく。

めやすは、④⑤合わせて 10 分くらいで完成させましょう。ここでは「本文の意味をざっとつかんでもらうこと」が狙いです。

### ⑤ 【 Step3 Intensive Reading 】で、⑤で文の構造や本文の意味を理解する。

本校 HP の動画を見て、文の構造や本文の意味を理解する。

### ⑥ 【 Step4 Comprehension 】

問題を解く。⇒ 答え合わせは、授業の中で行います。

### ⑦ 【 教科書の問題を解く 】

問題を解く。⇒ 答え合わせは、授業の中で行います。

### ⑧ 【 Step5 Reading Practice 】

ハンドアウトの順番とは異なりますが、次のような順番で練習するとよいと思います。これは、パラグラフごとで行ったほうが良いと思います。もちろん、上級者は全文通して行っても構いません。

1. サイトトランスレーション（左側に英語、右側に日本語が載っているもの）のページを開いて、CD を聞きながら、（できれば）スラッシュごとに、読み練習。スラッシュごとに意味をつかむ。
2. CD を聞いて、オーバーラッピング、シャドーイングを行う。

3. Reading Practice ②③で、空所補充をしながら、読み練習をする。

4. 最後に、Reading Practice ①で、該当箇所を日本語から英語に直しながら、読む。答えは教科書です。

### ⑨ 【 Step6 Try more! 】

そのレッスンに関連する英文です。制限時間を設けて、解いてください。答え合わせは授業で行います。

## Hyper Listening を使って学習する場合

### ① CD を聞いて、問題を解く。⇒ 答え合わせ

### ② CD を聞きながら、Script を読み、意味の把握をする。

こうすることによって、文章がどんな風に読まれているのかがわかるようになります。

### ③ 解答が間違っていた問題は、なぜ間違っていたかを確認。

わからなかった単語、熟語は、自分のワードリスト（単語帳のようなもの）に入れておく。

### ④ 読み練習（オーバーラッピング、シャドーイング）

### ⑤ ディクテーションノートに取り組む。

以上の5ステップで勉強してみましょう。リスニングが弱いと感じている人は、①のすぐあとに、CDをとめながら、一文ずつディクテーションをしてみましょう。わかるまで、何度（少なくとも2回）も聞いてみてください。とっても大変ですが、すごく力がつきます。

そのほかに、コミュ英からは「長文課題問題集 SKYWARD」の課題も追加になっています。ただ、解いて答え合わせをして終わるのではなく、①わからなかった単語・熟語を覚えて、②意味が取れなかった英文があれば、解説を読んで、どうしてそのような意味になるのかを考え、最後に、③CDを聞いて英文を目で追うという3点を必ず行いましょう。そして、わからないところが出てきたら、学校が始まったときに先生にいつでも相談してもらいたいと思います。わからなかったところが、すべてクリアになった後、できればもう一度問題を解きなおしてほしいと思います。全問正解するまで、問題集を使い倒しましょう。

最後に、英語は語彙力が勝負です。単語帳などを使って、各自しっかり語彙力強化に努めてください。

